

看護技術基礎演習

[講義・演習] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 山口夕貴 oyuki0224@hoku-iryu-u.ac.jp 横川亜希子 米川弘樹 白川まゆこ 吉田菜摘

【概要】

看護技術論で学んだ看護技術の特性を理解し、安全で安楽な看護実践を体現するための看護技術の基本を講義と演習を通じて学修する。

【学修目標】

1. 対象者および援助者の安全かつ安楽の保持に関わる基本的な看護技術を修得する。
2. 健康と環境の関係から生活環境を整えるために必要な基本的な看護技術を修得する。
3. 看護過程の概念をもとに基本的ニーズを充足する援助方法について実践し探究する。
4. 看護技術の特性を踏まえて自己の課題を検討する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1. 看護技術の基本(1)	講義：看護における安全・安楽	山口
2	1. 看護技術の基本(2)	講義：感染防止対策	山口
3	1. 看護技術の基本(3)	演習：感染予防のための基本技術(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	1. 看護技術の基本(3)	演習：感染予防のための基本技術(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
4	1. 看護技術の基本(4)	講義：看護援助におけるボディメカニクスの活用	山口
5	1. 看護技術の基本(5)	講義：人間の姿勢と動作	山口
6	1. 看護技術の基本(6)	演習：ボディメカニクス(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	1. 看護技術の基本(6)	演習：ボディメカニクス(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
7	1. 看護技術の基本(7)	演習：基本動作(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	1. 看護技術の基本(7)	演習：基本動作(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
8	1. 看護技術の基本(8)	演習：安楽な体位(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	1. 看護技術の基本(8)	演習：安楽な体位(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
9	1. 看護技術の基本(9)	演習：寝衣交換(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	1. 看護技術の基本(9)	演習：寝衣交換(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
10	1. 看護技術の基本(10)	演習：車椅子移乗・ストレッチャー移送(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	1. 看護技術の基本(10)	演習：車椅子移乗・ストレッチャー移送(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
11	2. 生活環境の調整(1)	演習：生活環境の理解	山口・横川・米川・白川・吉田
12	2. 生活環境の調整(2)	演習：ベッドメイキング(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
	2. 生活環境の調整(2)	演習：ベッドメイキング(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
13	2. 生活環境の調整(3)	演習：リネン交換(1)(Aクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	2．生活環境の調整(3)	演習：リネン交換(1)(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
14	2．生活環境の調整(4)	演習：リネン交換(2)(Aクラス)	山口・横川・米・白川・吉田
	2．生活環境の調整(4)	演習：リネン交換(2)(Bクラス)	山口・横川・米川・白川・吉田
15	3．看護技術の特性	演習：看護技術の特性の検討	山口・横川・米川・白川・吉田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験(筆記試験)40% 実技試験50% 提出課題10%

【教科書】

- 1) 深井喜代子他：基礎看護学 基礎看護技術 第6版・メヂカルフレンド社,2021.
- 2) 深井喜代子他：基礎看護学 基礎看護技術 第5版・メヂカルフレンド社,2021.
- 3) 香春知永, 齋藤やよい編：基礎看護技術 看護過程の中で技術を理解する 改訂第3版・南江堂,2018.

【参考書】

- 1) V.ハンダーツ, 湯槇ます他訳：看護の基本となるもの 再新装版・日本看護協会出版会, 2016.
- 2) E.ウィーデンバック他, 池田明子訳：コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵 新装版・日本看護協会出版会, 2007.
- 3) F.ナイゲル, 湯槇ます他訳：看護覚え書 改訂第8版・現代社, 2023.

【備考】

- ・具体的な学習内容に関しては、別途配付される学習要項を参照する。
- ・資料の掲示や連絡事項に関しては、GoogleClassroomを活用する。
- ・授業の出席確認やフィードバックシート(質疑・意見等)は、Google Formsを活用する。

【学修の準備】

下記内容を踏まえ、各回で1時間の事前学習と事後学習を行う

1) 事前学習

講義：授業に関連する箇所の教科書および講義資料を熟読する

演習：テキスト関連箇所の熟読、視聴覚教材の視聴、ワークシート課題の記入を行う。各回の具体的な内容は、学習要項に記載があるため、内容を確認して学習に取り組む。

2) 事後学習

講義：授業内容を振り返り、学習した内容が理解できるよう復習を行う。

演習：ワークシート課題の記入、実習室で演習内容の自己学習および継続学習課題を行う。具体的な内容は、学習要項に記載されているため、内容を確認して学習に取り組む。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

山口夕貴(看護師) 横川亜希子(看護師) 米川弘樹(看護師) 吉田菜摘(看護師) 白川まゆこ(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

病院での看護師としての実務経験に基づき、看護技術の基本を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している